

# シンポジウム概要

「いつきてもおかしくない東海・東南海・南海地震」の枕詞の下に、東海地方における自治体や各省の事業体等では、巨大地震対策の見直しと防災力の強化が進められている。その中で、(1)市民工学として位置づけられる土木工学・建築学は社会の安全・安心のためにどのような役割を果たしてきたのか、また、(2)海溝型巨大地震を控えた東海地方が3月11日の未曾有の大災害から何を学び、国立大学として今後何をしていかなければならないのか、と言う観点に立って、この地域の大学研究者と防災に携わる技術者、さらには一般市民が共通認識を深めることが強く期待されている。

愛知・岐阜・三重の東海3県における国立大学(名古屋工業大学・名古屋大学・豊橋技術科学大学・岐阜大学・三重大学)の土木工学・建築学の教員が連携し、来たる東海・東南海・南海地震に立ち向かうための知恵とワザをわかりやすく解説し、社会基盤に携わる公共機関、自治体、消防、マスコミ、一般市民とともに巨大地震対策を議論する。

## 交通のご案内

名古屋国際会議場  
〒456-0036 名古屋市中村区熱田西町1番1号  
TEL:052-683-7711 FAX:052-683-7777



名古屋駅 定名鉄線 東海道新幹線	タクシー	名古屋駅 → 名古屋国際会議場	約20分	約2,000円
	地下鉄	名古屋駅 → 東山線「栄」 桜通線「久屋大通」のりかえ → 名城線「日比野」下車 徒歩約5分 → 名古屋国際会議場	約20分	地下鉄 230円
セントレア 国際空港	名鉄線 + 地下鉄	中部国際空港 → 金山 → 地下鉄2分 名港線「日比野」下車 名城線「西高蔵」下車 徒歩約5分 → 名古屋国際会議場	約40分	空港線 1,140円 地下鉄 200円

● 公共交通機関をご利用ください

名古屋工業大学企画広報チーム  
問合せ先 Tel: 052-735-5004 Fax: 052-735-5009  
E-mail: kentry@adm.nitech.ac.jp

## 防災・日本再生シンポジウム

# 東海3県の国立大学が 社会に向けて提言する 巨大地震対策

平成23年  
日時 **11/20**日  
13:00~17:30

会場 **名古屋国際会議場  
レセプションホール**

定員 **400名**

### 講演スケジュール

セッション1	地震動・液状化	13:05~14:20
休憩		14:20~14:30
セッション2	命と生活を守る	14:30~15:50
休憩		15:50~16:00
セッション3	津波に備える	16:00~17:20

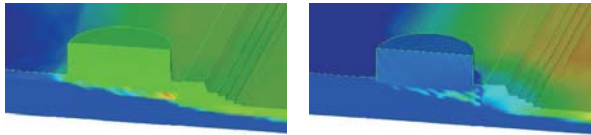
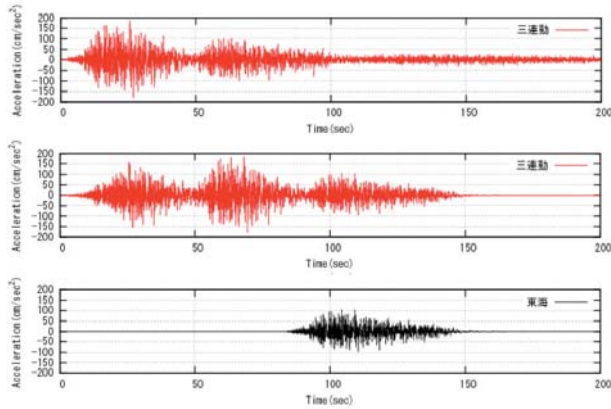
### 参加申込方法

お申込みは件名を「シンポジウム申し込み」として、お名前、職業、連絡先(TEL、FAX、E-mail)を明記の上、名古屋工業大学企画広報チームにFaxまたは、電子メールにて**11月16日(水)**までにお送りください。

Fax **052-735-5009**

E-mail **kentry@adm.nitech.ac.jp**

## セッション1 地震動・液状化



### パネリスト

岐阜大学 理事・副学長 **杉戸 真太**  
 岐阜大学 理事・副学長 **八嶋 厚**  
 名古屋工業大学 教授 **張 鋒**  
 名古屋工業大学 准教授 **前田 健一**

### 概要

東海・東南海・南海の三連動地震では、強い揺れが数分継続する地震動となることが予測されています。その結果、特に地盤の液状化による被害が著しくなることが懸念されています。そこで、連動地震によって、東海地方に予測される震度や液状化の危険度、液状化による地盤の変状と被害や津波への耐力の低下などについて解説します。さらに、私たちが、公共や個人の立場でどのように取り組んでいかなければならないのかを議論します。

## セッション2 命と生活を守る



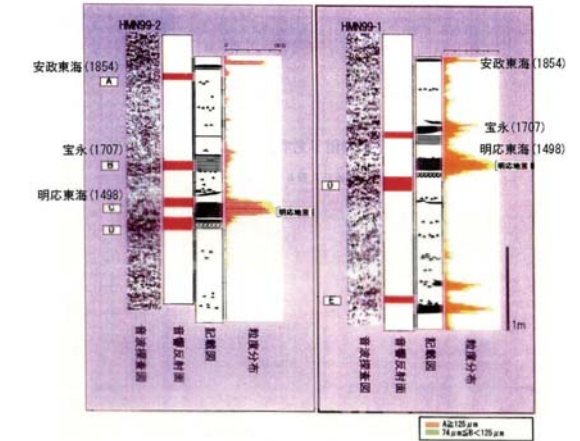
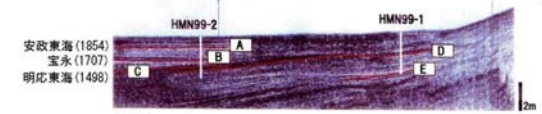
### パネリスト

三重大学 教授 **畑中 重光**  
 名古屋大学 教授 **福和 伸夫**  
 名古屋工業大学 教授 **井戸田 秀樹**

### 概要

東日本大震災をも超える広域災害が想定される東海・東南海・南海地震では、人的被害軽減対策および震災後の経済復興対策いずれの観点からみても、倒壊建物をいかに減らすかが最大の焦点です。地震対策の真価を問う剣が東海地方の喉元に突きつけられた今、私たちは残り少ない時間で何ができ、何を覚悟しなければならないのでしょうか。大切な命と日々の営みを守るための巨大地震対策について議論します。

## セッション3 津波に備える



### パネリスト

東京大学 准教授 **都司 嘉宣**  
 豊橋技術科学大学 教授 **青木 伸一**  
 名古屋大学 教授 **水谷 法美**  
 名古屋工業大学 教授 **喜岡 渉**

### 概要

東海・東南海・南海の三連動地震は、千年に一度程度発生するミレニアム津波を引き起こし、東海地方にも東日本大震災のような低頻度巨大津波災害をもたらす可能性があります。津波セッションでは、我が国の津波研究の第一人者である東大地震研・都司准教授が過去の歴史津波から予想される東海地方の巨大津波について解説します。次いで、東海地区を二つに分けて、遠州灘沿岸地域、伊勢湾・熊野灘沿岸地域それぞれにおける巨大津波への備えについて提案します。